

科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会
薬学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）
議事要旨

日時 平成31年4月23日（火）14:00～15:30
会場 日本学術会議 5-D会議室
出席者 遠藤委員、藤井委員、望月委員、嶋田委員、菅野委員、寺崎委員、
安原委員、佐治委員（ビデオ）、平井委員（ビデオ）、太田委員（ビデオ）
事務局 高谷審議専門職、大澤審議専門職付

配布資料

- 資料1 第1回評価小分科会での確認事項
- 資料2 マスタープラン2020策定に関わる利益相反排除の方針
- 資料3 学術大型研究計画策定における審査・評価プロセスについて
- 資料4 評価小分科会及び委員の役割
- 資料5 マスタープラン2017において重点大型研究計画に選定された区分Ⅰの研究計画で、継続条件を満たしかつ継続を希望する研究計画の継続審査について
- 資料6 区分Ⅱの研究計画の適否のチェックについて
- 資料7 薬学分野の応募提案一覧【非公開資料】

- 参考1 小分科会委員名簿
- 参考2 第24期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針
- 参考3 公募要領
- 参考4 学術研究領域コード表

議 題

1) 役員の選任について

互選により、委員長として望月委員が選任された。委員長より、副委員長として遠藤委員が、幹事として佐治委員及び安原委員がそれぞれ指名され、出席委員から承認された。

なお、議事要旨については各委員で内容確認後、委員長に一任すること、また、委員間でメールアドレスを共有することが承認された。

2) 利益相反についての考え方の確認

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある藤井委員より、審査における利益相反についての考え方の説明があった。今回の評価にあたり、出席委員が利害関係者に該当しないことが確認された。

3) 評価小分科会における審議事項等

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある藤井委員より、資料について説明があった。項目評価の $i \sim vi$ の重みづけについて協議し、方針を決定した。

4) 取りまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、区分 I（学術研究領域で融合領域（コード32-1）を選択した提案を除く）の順位づけのとりまとめの審議の方法について協議し、方針を決定した。

5) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。

文責 安原